

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域》
- 2 単元名 『バケツで米作りをしよう』 (全30時間=実施時期: 4月~12月)
- 3 単元のねらい

バケツ稲を栽培して観察したり、お世話になった方を呼んでライスパーティをすることを通して、解決の手順や方法を考え、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢いの仕掛け、引き出された子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		バケツ稲で稲を栽培する。	稲の観察をする。	観察結果をワークシートに記録する。	ライスパーティを開く。
出逢いの仕掛け	もの	バケツ稲で稲を栽培する。	稲の観察をする。	観察結果をワークシートに記録する。	米作りについてプレゼンテーションソフトを使ってまとめる。
	ひと	ボランティアさんに米作りについて説明を聞く。	米作りの作業について説明を聞く。	ワークシートに記録する。	ボランティアさんを招き、自分達で作ったお米を使ったライスパーティを開く。
	しごと(こと)				
引き出された姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)				
	やり抜く力 (忍耐と向上心)		バケツ稲の世話をする。		米作りについて分かったことをプレゼンテーションソフトでまとめる。
	まき込む力 (発信と協働)				ボランティアさんを招いてライスパーティを開き、調べてわかったことを発表する。

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「米作りのさかんな地域」

6 他学年、他校(園)種との連携・接続・交流

7 単元の流れ（探究過程）と活動の実際

課題設定

社会科で「米作りの一年」について知り、バケツ稲作りを通して米作りについて学ぶという課題を知る。

情報収集



佐能直樹さんから米作りについて教えていただく。



土作りをして、田植えをする。



稲の成長の様子をタブレットを利用して定期的に観察する。



稲刈りをする。



脱穀、粳すり、精米をする。

整理・分析

タブレットでバケツ稲観察記録をまとめる。

発表する内容、グループを決める。

観察記録やクイズ形式でまとめる。

まとめ・表現



佐能直樹さんに向けて観察記録やクイズ形式で発表する。



作ったお米を使ってライスパーティーを開き、佐能直樹さんに感謝の気持ちを伝える。

8 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 実際に作業をしたり、観察したりすることで、米作りについての理解を深めることができた。
- ライスパーティーという目標を設定することで、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力が育った。